

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 23 年 1 月 13 日 (2011.1.13)

【公表番号】特表 2004-500629 (P2004-500629A)
 【公表日】平成 16 年 1 月 8 日 (2004.1.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-001
 【出願番号】特願 2001-536725 (P2001-536725)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 13/00 5 4 0 B

G 0 6 F 12/00 5 4 6 K

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成 22 年 11 月 17 日 (2010.11.17)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】特許請求の範囲
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ウェブページを仲介する方法であって、該方法は、中間サーバにおいてプロセッサによ
って実行され、該方法は、

ターゲットウェブサーバから該ウェブページを取り出すことと、

該ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にすること
と、

関連するプロトコル名によって該ウェブページ内のダイナミックリンクを識別すること
と、

該ダイナミックリンクが該中間サーバを指し示すように該ウェブページ内の該識別され
たダイナミックリンクを変更することと

を含む方法。

【請求項 2】

前記ダイナミックリンクが相対リンクであり、前記ウェブページ内の相対リンクを変更
する工程は、

該相対リンクがベースタグを含む場合、該相対リンクが前記中間サーバを指し示すよう
に前記プロセッサが該ベースタグを修正することと、

該相対リンクがベースタグを含まない場合、該プロセッサがベースタグを挿入すること
であって、該挿入されたベースタグにより、該相対リンクが該中間サーバを指し示す、こ
とと

をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にする工
程は、前記プロセッサが、該ウェブページを即座に期限切れになるように設定すること
を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記ダイナミックリンクは絶対 URL であり、前記プロセッサが、プロトコルによって
該絶対 URL を識別することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記ダイナミックリンクが該中間サーバを指し示すようにダイナミックリンクを変更する工程は、ホスト名を用いて前記ウェブページに関連する前記ターゲットウェブサーバを規定することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記ダイナミックリンクが該中間サーバを指し示すようにダイナミックリンクを変更する工程は、ポートを用いて前記ウェブページに関連する前記ターゲットウェブサーバを規定することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記プロセッサが、前記ウェブページ内のリソースのリソースソースタグを識別することによって該リソースのリソースタイプを識別することと、

該プロセッサが、該ウェブページを修正して該リソースを指し示すリンクを変更することにより、該リソースタイプを有するとして該リソースをマークすることと、

該プロセッサが、該リソースがマークされている該リソースタイプに基づいて、該リソースを指し示すダイナミックリンクが変更されるべきではないことを決定することとをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

ドキュメントドメインスクリプトコマンドが前記中間サーバのドメインを指し示すように、前記プロセッサが、前記ウェブページ内の該ドキュメントドメインスクリプトコマンドを変更することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記プロセッサが、サポートされていないリンクをエラーメッセージと置き換えることをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記プロセッサが、第 1 のクッキーに関連する 1 組の作成の詳細を保存することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記 1 組の作成の詳細のソースは、http - ヘッダである、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記プロセッサが、ブラウザに第 2 のクッキーを前記中間ウェブサーバへと送信させることをさらに含む、該第 2 のクッキーは、前記第 1 のクッキーに関連する前記 1 組の作成の詳細を含む、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 13】

前記プロセッサが、フォーム「GET」提出をフォーム「POST」提出に変更することとをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 14】

中間サーバにおいてウェブページを仲介するシステムであって、
コンピュータ読み取り可能媒体と、
該コンピュータ読み取り可能媒体に格納されたソフトウェア命令と
を含み、該ソフトウェア命令は、

ターゲットウェブサーバからウェブページを取り出すことと、

該ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にすることと、

関連するプロトコル名によって該ウェブページ内のダイナミックリンクを識別することと、

該ダイナミックリンクが該中間サーバを指し示すように該ウェブページ内の該識別されたダイナミックリンクを変更することと

を行うように動作可能である、システム。

【請求項 15】

前記ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にするよう
に動作可能なソフトウェア命令は、前記ウェブページが即座に期限切れになるようにさ
らに動作可能である、請求項 1 4 に記載のシステム。

【請求項 1 6】

前記ダイナミックリンクは相対リンクであり、前記ソフトウェア命令は、
該相対リンクがベースタグを含む場合、該相対リンクが前記中間サーバを指し示すよう
に該ベースタグを修正することと、

該相対リンクがベースタグを含まない場合、ベースタグを挿入することであって、該挿
入されたベースタグにより、該相対リンクが該中間サーバを指し示す、ことと
を行うようにさらに動作可能である、請求項 1 4 に記載のシステム。

【請求項 1 7】

前記ソフトウェア命令は、ホスト名を用いて前記ウェブページに関連する前記ターゲッ
トウェブサーバを規定するようにさらに動作可能である、請求項 1 4 に記載のシステム。

【請求項 1 8】

前記ソフトウェア命令は、ポートを用いて前記ウェブページに関連する前記ターゲッ
トウェブサーバを規定するようにさらに動作可能である、請求項 1 4 に記載のシステム。

【請求項 1 9】

前記ダイナミックリンクは絶対 URL であり、前記ソフトウェア命令は、プロトコルに
よって該絶対 URL を識別するようにさらに動作可能である、請求項 1 4 に記載のシステ
ム。

【請求項 2 0】

前記ソフトウェア命令は、
前記ウェブページ内のリソースのリソースソースタグを識別することによって該リソー
スのリソースタイプを識別することと、
該ウェブページを修正して該リソースを指し示すリンクを変更することにより、該リソ
ースタイプを有するとして該リソースをマークすることと、
該リソースがマークされているリソースタイプに基づいて、該リソースを指し示すダイ
ナミックリンクが変更されるべきではないことを決定することと
を行うようにさらに動作可能である、請求項 1 4 に記載のシステム。

【請求項 2 1】

前記ソフトウェア命令は、ドキュメントドメインスクリプトコマンドが前記中間サーバ
のドメインを指し示すように前記ウェブページ内の該ドキュメントドメインスクリプトコ
マンドを変更するようにさらに動作可能である、請求項 1 4 に記載のシステム。

【請求項 2 2】

前記ソフトウェア命令は、サポートされていないリンクをエラーメッセージと置き換え
るようにさらに動作可能である、請求項 1 4 に記載のシステム。

【請求項 2 3】

前記ソフトウェア命令は、第 1 のクッキーに関連する 1 組の作成の詳細を保存するよう
にさらに動作可能である、請求項 1 4 に記載のシステム。

【請求項 2 4】

前記ソフトウェア命令は、http - ヘッダから前記 1 組の作成の詳細を保存するよう
にさらに動作可能である、請求項 2 3 に記載のシステム。

【請求項 2 5】

前記ソフトウェア命令は、ブラウザに第 2 のクッキーを前記中間ウェブサーバへと送信
させるようにさらに動作可能であり、該第 2 のクッキーは、前記第 1 のクッキーに関連す
る前記 1 組の作成の詳細を含む、請求項 2 3 に記載のシステム。

【請求項 2 6】

前記ソフトウェア命令は、フォーム「GET」提出をフォーム「POST」提出に変更
するようにさらに動作可能である、請求項 1 4 に記載のシステム。

【請求項 2 7】

ウェブページを仲介する方法であって、該方法は、中間サーバにおいてプロセッサによって実行され、

ターゲットウェブサーバから該ウェブページを取り出すことと、

該ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にすることと、

関連するプロトコル名に従って該ウェブページ内の絶対URLを識別することと、

該絶対URLが該中間サーバを指し示すように該ウェブページ内の該識別された絶対URLを変更することと

を含む方法。

【請求項 28】

相対URLが前記中間サーバを指し示すように、前記プロセッサが前記ウェブページ内の該相対URLを変更することをさらに含む、請求項 27 に記載の方法。

【請求項 29】

前記プロセッサが、クッキーに関連する 1 組の作成の詳細を保存することをさらに含む、請求項 27 に記載の方法。

【請求項 30】

前記ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にする工程は、前記プロセッサが、該ウェブページを即座に期限切れになるように設定することを含む、請求項 27 に記載の方法。

【請求項 31】

ウェブページを仲介する方法であって、該方法は、中間サーバにおいてプロセッサによって実行され、

ターゲットウェブサーバから該ウェブページを取り出すことと、

該ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にすることと、

関連するプロトコル名によって該ウェブページ内の相対リンクを識別することと、

該相対リンクが該中間サーバを指し示すように該ウェブページ内の該識別された相対リンクを変更することと

を含み、

該相対リンクがベースタグを含む場合、該相対リンクが該中間サーバを指し示すように、該プロセッサが該ベースタグを修正することと、

該相対リンクがベースタグを含まない場合、該プロセッサがベースタグを挿入することであって、該挿入されたベースタグにより、該相対リンクが該中間サーバを指し示す、ことと

をさらに含む、方法。

【請求項 32】

絶対URLが前記中間サーバを指し示すように、前記プロセッサが該絶対URLを変更することをさらに含む、請求項 31 に記載の方法。

【請求項 33】

前記プロセッサが、クッキーに関連する 1 組の作成の詳細を保存することをさらに含む、請求項 31 に記載の方法。

【請求項 34】

前記ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にする工程は、前記プロセッサが、該ウェブページを即座に期限切れになるように設定することを含む、請求項 31 に記載の方法。

【請求項 35】

ウェブページを仲介する方法であって、該方法は、中間サーバにおいてプロセッサによって実行され、

ターゲットウェブサーバから該ウェブページを受け取ることと、

該ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にすること

と、

関連するプロトコル名によって該ウェブページ内の絶対URLと相対URLとを識別することと、

該絶対URLが該中間サーバを指し示すように該ウェブページ内の該識別された絶対URLを変更することと、

該相対URLが該中間サーバを指し示すように該ウェブページ内の該識別された相対URLを変更することと

を含む、方法。

【請求項36】

前記プロセッサが、クッキーと関連する1組の作成の詳細を保存することをさらに含む、請求項35に記載の方法。

【請求項37】

前記ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にする工程は、前記プロセッサが、該ウェブページを即座に期限切れになるように設定することを含む、請求項35に記載の方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0014

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0014】

本発明の目的に対して、「コンテンツ」は、（例えば、ユーザがリンクを選択する場合）ユーザコマンドに応じるウェブページによってユーザのブラウザに戻るHTMLおよび他のデータを指す。「静的」ウェブページは、経時的に変化しない、ユーザのブラウザに戻るコンテンツを含む。「動的」ウェブページは、異なって、予めフォーマットされていないコンテンツを含み得るページを表す。そのページは、同じユーザのコマンドに応じて経時的に変化する。「経路」または「ウェブ経路」は、特定の順番においてなされる連続的なリクエストである。「教示セッション」は、経路が後に再生され得るようにユーザが該経路を規定することを指す。